

# (1) 平成26年度横浜市社会教育コーナー管理運営報告書

事業対象施設 横浜市社会教育コーナー 横浜市磯子区磯子3-6-1-1

事業期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日

管理運営団体 特定非営利活動法人 横浜市民アクト

## 1 生涯学習・地域活動団体（個人）へ安全・安心な場の提供

### 1) 開館日数：345日

休館日（原則毎月第1月曜日&年末年始 全20日）

### 2) 利用率・利用人数・利用コマ数（別紙：(5) 利用状況年間報告書）

### 3) 登録団体数：421団体（平成27年3月31日現在）

分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数
テニス	127	卓球	4	太極拳	21	ヨガ	3	体操	12
ダンス	56	踊り	2	詩吟	2	朗読	4	演劇	3
人形劇	0	合唱	52	器楽	8	絵画	11	水彩画	8
書道	11	手工芸	5	ゲーム	0	外国語	9	俳句	8
歴史文学	4	パソコン	0	自治会	1	管理組合	10	健康福祉	3
地域市民活動	16	高齢者福祉	2	子育て支援	4	青少年育成	4	その他	31

※その他：上記に該当しない学習会、打合せなど

## 成果：

### ① 利用率、利用者数増加への取組

- ・7月より社会教育コーナー全施設の利用数を3コマから5コマへ増やした。
- ・昨年度から実施している「利用希望日の1週間前に部屋等が空いていたら、利用団体が持っている予約コマ数に関係なくどの部屋でも利用可能」とした取組が定着してきた。
- ・交流コーナーの机と椅子の配置を変更。チラシ配架台も併せ全体リニューアルを行う。利用の前後の待ち合わせや打合せだけでの利用が増えた。

以上の取組により「計画的に利用ができるようになった」の声もあり年間予約数が約300増え、利用人数と利用率アップにつながった。

### ② UR機構との連携強化

- ・当施設は、UR機構が管理する「磯子3丁目団地」1号棟の1階部分に設置されている。団地事務所や担当部署とコミュニケーションを図り、連絡等を密にしていた。

### ③ 開館・閉館時間の厳守

- ・決まった時間の開館・閉館を職員（アルバイト含む）全員に意識徹底させ、コミュニケーション良く行った。また窓口では利用者の立場に立った分かりやすい受付案内に努めた。

#### ④ 安全安心をモットーの施設運営

・安全、安心な利用をモットーに施設内の保全状況等をチェックし、計画的な修繕と業者による定期点検、日頃の業務を通しての点検などに努めた。日常清掃で解決できない内容は次年度の業者による清掃計画に入れ対応。

#### ⑤ 事務所内での情報の共有

・職員はローテーション勤務のため、普遍的な認識と情報の共有が必要となる。その解決のため夜間アルバイトを含めた全員共通の日報の活用と定期的に事務所会議を実施。サービスのばらつきや不公平な対応防止に努めた。

・守秘義務の履行、個人情報保護の遵守、情報公開規定による適切な対応を心掛けた。

## 2 施設の防災・防犯対策

### ① 緊急時での対応

・緊急時、教委、消防・警察への連絡内容（対応マニュアル）を作成し事務所内に掲示。職員への周知を行なった。

・怪我人や病人、盗難等の発生時の対応もマニュアルを作成し、アルバイトを含め職員全員へ配布。その時慌てないために、定例会議などで周知確認を行った。

### ② 館内平面図で確認

・消火設備や警報装置、避難経路の平面図を新たに作成し各部屋に掲示。防災訓練時の確認と併せ消火器の設置場所には直ぐ分るよう表示をしている。

### ③ 災害対策

・磯子区は海に近く地震等発生時に津波が発生する可能性がある。また遠距離からの利用者もあることなどから、有事の際の一時帰宅困難者対応も含め様々な情報を集めリーフレットにまとめている。

・災害時の避難場所の確認と併せ、磯子消防署の協力で避難訓練（通報）、AED と救急法の講習会を行い、その後広域避難場所まで全員で歩き情報を共有した。

## 3 生涯学習・社会教育に関する相談・コーディネート・情報提供

### ① 相談内容の特徴と取組

・市民個人に対し講師や団体・サークル、イベント、講座等の情報提供を行っているが、それに加え市内内外の施設職員や中間支援機関（支援センター）など生涯学習関係職員から講師の紹介や事業プログラムの組み立て、会議の考え方や進め方などの相談も寄せられ対応してきた。（26年度実績：21件）

・今後は市内を東西南北4方面に分割し担当職員を決め、生涯学習文化財課と共に生涯学習関係職員や中間支援組織の後方支援を行う。集めた情報をまとめ、事業や研修にも活かしていく。

・サークル団体情報提供の際、持ち帰ってゆっくり検討できる会員募集冊子が大変役に立っている。

### ② 相談カードの作成

・相談カードを作成し、それを毎月まとめ全員に回覧、相談内容とその対応内容等について情報共有していった。職員全員が同じ情報を持つことは無理でも、情報源を共有することは大切で今後も続けていきたい。

## 4 社会教育コーナーの評価・検証

### ① 利用者会議（別紙参照）

- ・普段利用している登録団体の代表者による懇談会。ご利用の際気付いたことや質問等をお聞きし、今後の管理・運営に活かしていくことを目的に実施。
- ・メンバーは2年毎に変わり、今年度は初めての団体から施設の管理運営や事業に関してご意見を頂いた。

### ② 利用者アンケート（別紙参照）

- ・登録団体から施設の利用に関してご意見を頂き、管理運営に活かしていく事を目的に実施。

日程：11月15日～12月末の間実施

回答数：98団体

頂いたご意見をまとめ、それに対する回答と共に館内に貼りだし周知した。

### ③ 事業アンケート

- ・事業（主に講座）実施の最後に受講者に向け実施。今後の事業開催に活かしていく事を目的に実施。
- ・会場・設定時間・(曜日)・講師・スタッフなど各項目と記述を含め記入いただける工夫をした。

### ④ ご意見箱の設置と窓口対応

- ・気軽にご意見が頂けるよう事務所窓口を設置、また利用報告書にも記入欄を作っている。
- ・窓口では相手が話しやすい雰囲気と簡潔にまた丁寧な対応を職員全員心掛け、相手に伝わる工夫をしている。

## 5 業務に関する研修

### ① 施設の管理運営に関する研修

- ・防火管理者講習：2名参加
- ・労務・経理研修：1名参加
- ・救急法講習（AED含む）、避難訓練：職員全員参加

### ② 個人情報保護に関する研修

実施日：10月22日（水）参加者：20人

テーマ：子どもたちを巡るインターネットやスマホの問題について&個人情報保護の基本

### ③ 生涯学習等に関する研修

- ・横浜市教委主催研修をはじめ市民局の事業や各分野の定例会等多岐にわたり参加。今後の業務に活かせるよう職場内で情報の共有を行った。
- ・職員が講師で他都市等へ出かけた場合に他職員も同行し補助講師として対応。顔もつながり実体験が研鑽の場にもなっている。

## (2) 平成 26 年度保守管理維持管理報告書

業務	頻度		備考	実施年月日	実施結果
設備建物維持管理	1回/月	定期点検	スタッフによる月次点検	別紙「設備点検記録表」のとおり	
	3回/年	定期点検	業者による点検	別紙「設備点検報告書」のとおり	
空調設備の清掃点検	1回/3か月	定期点検	フィルターの清掃・点検	上記記録表・報告書のとおり	
消防用設備点検	2回/年	定期点検	消防法上定期点検	平成 26 年 5 月 27 日	異常なし
				平成 25 年 11 月 20 日	異常なし
自動ドア点検	2回/年	定期点検	自動ドア専門メンテナンス（法定点検）	平成 26 年 4 月 8 日	外扉部品交換等提案あり
				平成 26 年 10 月 9 日	外扉部品交換等提案あり
非常通報装置点検	2回/年	定期点検	保守管理	平成 26 年 5 月 27 日	異常なし
				平成 26 年 11 月 20 日	異常なし
防火対象物点検	1回/年	点検	消防法上必要書類一式点検及び館内点検	平成 26 年 5 月 27 日	異常なし
清掃業務	毎日	日常清掃	館内各部屋とトイレ・回廊等の清掃	別紙「設備点検記録表」のとおり	
	1回/2か月		床のワックス及び網戸・ガラス・換気扇等中心	別紙「設備点検報告書」のとおり	
	1回/2年		雑排水管及び污水管高圧洗浄	別紙「作業状況報告書」のとおり	
小破修繕	随時			下欄内訳のとおり	

小破修繕内訳書	
対応月	内容
5月	アートルームドアクローザー交換
6月	研修室 A・C 網戸・レール取替
8月	中庭 床タイル修繕
10月	女子トイレ網戸修理
12月	卓球台ネット修理、トイレ表示作成、テニスネット修繕・取替、MD ラジカセ修理
3月	スポーツ広場 門扉塗装工事

## (3) 平成26年度 生涯学習事業(自主事業)報告書

事業分類	事業名	回数	時期	受講料 (円)	対象	募集人数 (人)	参加者 数	受講料 収入(円)
学校教育 と社会教育 の充実	横浜学校・地域コーディネーター連絡会	9	4月～3月	0	養成講座 修了生	随意	137	0
	Yokohama 学校地域コーディネーター・フォーラム	1	6月28日	0	一般	随意	321	0
	社会教育指導員自主研修会	10	通年	0	社会教育 指導員	随意	117	0
交流の 機会を 図る	おまつりだ! (※1)	1	4月29日	0	子どもから大人まで		1,050	18,524
	いそびゴールデンウィーク スタンプラリー		4/23～5/6	0	子どもから大人まで		288	0
	大掃除&交流会	1	12月26日	0	登録団体	50	77	0
	おやこの広場 (※2)	11	通年	150	乳幼児と親		164組	0
	はじめての水遊び@社会教育コーナー	4	8/18～8/21	150	乳幼児と親	各回20組	43組	6,450
	ベビーマッサージ	2	6/2・12/9	1,000	乳児と親	各16組	23組	23,000
活動 事業 運営 支援	おはなし会スキルアップ講座 A パネルシアター (※3)	3	1/27・2/3・ 2/10	4,000	一般	30	23	150,800
	おはなし会スキルアップ講座 B ミトングマ (※3)	1	2月24日	3,000	一般	30	18	
	おはなし会の為のヴォイストレーニング1	4	6/24～7/24	5,000	関係者	20	13	145,000
	おはなし会の為のヴォイストレーニング2	4	11/4～11/25			20	16	
	手あそび・わらべうた講座 (※4)	1	6月13日	500		70	39	0
	学校図書ボランティア交流会 (※5)	1	7月5日	500		60	16	0
	学習ルームパレット	33	8月～3月 毎木曜日	0	障害を持つ 小中学生等	随意	327	0
	英語でトークinISOGO (※6)	3	9/27～11/22	3,000	一般	30	34	18,240
	木の実工作を楽しもう! クリスマス リース作り (※7)	1	12月6日	300	子どもから 大人まで	20	6	0
担い手の すそ野を 広げる	おはなしの国 おはなし会ボランティ ア養成講座 (※8)	5	10/17～11/14	1,500	一般	30	29	17,500
	おはなしの国 おはなし会ボランティ ア養成講座 公開講座 (※8)	1	11月14日	500	一般	50	33	
	学習ルームパレット ボランティア入門講座 (※9)	3	1/27・2/3・ 2/10	300	一般	20	10	0
	おはなし会	13	4/19～3/29	0	子どもから 大人まで	20	255	0
	家庭教育学級ばんぷきん (※10)	3	11/27～12/11	500	未就学児の 親	各回20	延べ56	30,000
学習 機会の 提供	映画音楽を歌おう 秋編	8	7/22～11/25	10,000	一般	30	17	349,500
	クリスマスソングを歌おう	1	12月9日	500		40	39	
	映画音楽を歌おう 冬編	8	1/27～5/19	10,000		30	16	
	ママフィットネス	8	8/8～3/14	800	一般	各回25	62	49,600
	横浜めぐり	3	10/117～12/5	3,000	一般	20	14	42,000
	和布リメイク講座 オリジナルパツ	4	10/24～11/25	3,200	一般	25	26	132,700
	和布リメイク講座 ソーイングパツ	4	1/13～2/24	4,500		25	11	
	大人のフォークソング部	5	11/2～3/15	10,000	一般	20	9	90,000
	エコカフェ ミニかえっこパズル inISOGO (※11)	1	3月29日	0	子どもから 大人まで	50	42	30,000
計						参加者総計230組 &3,101人	1,103,314	

※1は焼きそば等の売り上げ金

※2・4・5・7・9は共催事業の為収入は団体へ

※6と8は共催事業の為収入は団体へ事務費のみ計上

※3は講座Aのみ参加9人×@4,000円+講座Bのみ参加7人×@3,000円+AB参加14人×@6,700円の合計額

※10は社会福祉協議会の補助金。参加費収入は共催団体へ

※11は温暖化対策統括本部よりの補助金

### (3) 横浜市社会教育コーナー 生涯学習事業（自主事業）報告書

#### 事業目標

- 1 生涯学習・社会教育に関する情報の受発信並びに相談コーディネートの充実を図る
- 2 学校教育・社会教育との連携の強化と支援の充実を図る

#### 1 事業目標1-1 生涯学習・社会教育に関する情報の受発信

##### ① ホームページの充実

昨年度末に内容をリニューアルし、トップページも大幅に変更。コーナー自主事業をはじめ市内を中心とした講座・イベントなど各種情報の発信に努めた。

##### ② メンバー募集冊子の作成&配布

活動団体の課題の一つに会員の減少がある。そうした団体の安定した運営を図る事を目的に登録団体にダイレクトメールを送信、希望団体の情報をまとめ「会員募集団体一覧」を1,000冊作成。磯子区内市民利用施設や18区の生涯学習支援センターへ配架と配布を依頼した結果、反響も大きく問い合わせが50件あり効果があった。

##### ③ メンバー募集情報のホームページ掲載

上記団体情報を冊子配布と併せ、社会教育コーナーホームページにも掲載し、周知の広がりを実現した。ホームページを見ての問い合わせもあり効果があった。

##### ④ 情報の集約

市内18区の生涯学習・市民活動支援センターや大学、施設、機関の定期発行物（リーフレット・情報紙・グループ情報誌・ボランティア講師情報誌など）を集約し、相談や情報提供に役立てた。

##### ⑤ 館外掲示

団体のイベントや講座のチラシやポスターを道路わきの「掲示板」に貼り出し、コーナー横を通る人を館内へ誘致し情報の提供へつなげた。

##### ⑥ メルマガ発行

横浜市内を中心に生涯学習関連のイベント・講座や活動に役立つ内容などの情報を収集し毎月定期的に発行。400件の登録がある。

#### 2 事業目標1-2 生涯学習・社会教育に関する相談・コーディネートの充実

##### ① 相談内容の特徴

・以前より市民個人に対し講師や団体・サークル、イベント、講座等の情報提供はもとより、市内外の施設職員や中間支援機関（支援センター）など生涯学習関係職員から講師の紹介や事業プログラムの組み立て、会議の考え方や進め方などの相談も寄せられ対応してきた。（26年度実績：21件）

・今後は市内を東西南北4方面に分割し担当職員を決め、生涯学習文化財課と共に生涯学習関係職員や中間支援組織の後方支援を行う。集めた情報をまとめ、事業や研修にも活かしていく。

・サークル団体情報提供の際、持ち帰ってゆっくり検討できる会員募集冊子が大変役に立っている。

##### ② 相談カードの作成

・相談カードを作成し、それを毎月まとめ全員に回覧、相談内容とその対応内容等について情報共有していた。職員全員が同じ情報を持つことは無理でも、情報源を共有することは大切で今後も続けていきたい。

### 3 事業目標2 学校教育・社会教育との連携の強化と支援の充実を図る

#### ① 学校・地域コーディネーター連絡会

目的：学校・地域コーディネーター養成講座（市教委主催）修了生の活動現場での課題の共有、情報交換を定期的に行い、課題解決などを図る。

日程：4月～3月毎月第2水曜日10：00～12：00（全9回）

参加人数：137人（延人数）

内容：活動している各校の取組状況の紹介、先進事例校の見学、活動に関して課題や悩みを相互に聞きあい解決への糸口を一緒に考えている。

成果：常時10人以上が参加し、活動が初めての方からの様々な質問に皆が丁寧に対応している。時には一緒に考える場もあり、ここでも仲間づくりが進んでいる。

課題：連絡会への参加人数が固定してきた。養成講座の報告会等で参加の呼びかけを今後も続けていく。

#### ② Yokohama 学校地域コーディネーター・フォーラム（共催：Yokoham 学校地域コーディネーター・フォーラム実行委員会）

目的：平成19年度から始まった学校・地域コーディネーターの活動を広く知ってもらうことを目的に地域（企業やNPOなど）と学校がつながり、子どもたちの学習支援を進める。

日程：6月28日（土）10：00～16：00

内容：教育支援プログラムを持っている企業 NPO 大学などと学校をつなぐプログラム見本市と交流会を行う。30団体（企業）のプログラムが揃い、活発な情報交換が行えた。

参加者数：321人

成果：学校・地域コーディネーター連絡会が母体となり実行委員会を立ち上げ開催した。会場を社会教育コーナーとし、広がったことで展示数も2倍となり、横浜に事業所がある企業や団体にコーディネーターの活動をより知ってもらえる機会となった。

課題：学校関係者（教職員）の参加が伸び悩んだ。曜日を含め開催日の検討が必要。

#### ③ 社会教育指導員研修会

目的：業務に関する情報交換の場とスキルアップを目指す。

日程：5月～3月の間 18：30～21：00 10回開催

内容：市内外から社会教育関係のゲストを招き、其々の事業の考え方や方向性等実践に役立つ内容とした。

成果：各機関・施設からのゲストの話の中からヒントとなる事柄が多くあり、それぞれ地域での学習者や活動者への情報提供や相談対応の一助となった。また今年度はアクト主導で進めていったが、最終回には次年度の内容や運営に関する取組等が話し合わせ、関係者の主体的な会合になる事を期待している。

課題：研修の中で各々の「伝える力」と「引き出す力」不足を感じたようだ。次年度はこの2点をテーマに研鑽を積んでいく。

### 4 交流の機会を図る

#### ① おまつりだ！！

目的：社会教育コーナーを知ってもらう啓発事業

日程：4月29日（火・祝）10：00～15：00

対象：子どもから大人まで

参加人数：1,050人

内容：主催事業の講師や磯子区内NPO等20団体と連携し、コーナー全館を使って「段ボール迷路、人形劇、工作体験、フリーマーケット、みんなで歌おう、アカペラコーラス」など実施。

成果：「いそっぴゴールデンウィーク」スタンプラリー（4月23日～5月6日）にも参加し、併行して集客を行ったことで、多くの参加につながった。

課題：食品販売に関しては区役所の食品衛生課からの指示が厳しくなったことで、食品を扱うリスク管理の意識の向上が必要とされる。

## ② いそっぴゴールデンウィーク スタンプラリー（主催：磯子区館長連絡会）

目的：区内の公共施設がつながってイベントを行うことで、区民に多くの施設を知ってもらい、また職員同士も今まで以上の関係の構築を図る。

日程：4月23日～5月6日

内容：施設を巡るスタンプラリーを実施。スタンプが4つ集まると粗品と交換できる。

参加者数：コーナーに来た人数 288人

成果：磯子区地図と期間内に開催する各施設のイベントが載ったチラシを大量に配布することで、普段利用の無い人の来館があり、「おまつりだ～」の周知もできた。

## ③ 大掃除&交流会

目的：登録団体が一緒に掃除を体験することによりお互いの活動を知るきっかけとする

日程：12月26日（金）10:00～12:30

対象：登録団体

参加人数：60人（25団体50人+アクト会員）

内容：前半は6～8人のグループで各部屋を掃除。（部屋の隅やブラインドなど）きめ細かく皆で力を合わせ実施。後半はお茶を飲みながらの交流タイム。

成果：昨年の課題を踏まえ参加団体数を25団体先着順としたことで、作業用具も皆に充分行きわたり、参加者は効率的に作業が進んだ。

## ④ おやこの広場（共催：ばばばる～ん）

目的：乳幼児を持つ親がつどい、子どもと一緒に遊びを通して交流する。

日程：4月～3月（毎月最終月曜日）10:30～11:30（全11回）

対象：乳幼児と保護者

参加人数：164組の親子（300数十人）

内容：広いトレーニングルームを利用し、親子一緒にの歌遊びや手遊び、紙芝居や専門家による「食育」の話、また各季節の行事も盛り込んだ。

成果：毎月定例で行うことと行事内容が事前にわかる工夫をした結果、昨年に引き続き参加者数が増えた。共催団体の「ばばばる～ん」や地域のお母さん達（家庭教育学級ばんぷきんOB）の協力もあり今後も近隣の子育て拠点（広場）とは違う魅力で開催していきたい。

また、コーナー主催の他の事業の周知もできた。

## ⑤ はじめての水遊び@社会教育コーナー

目的：乳幼児を持つ親子の交流とコーナーを知ってもらう機会とする。

日程：8月18日～21日（全4回）

対象：乳幼児と保護者

参加人数：43組の親子

成果：コーナーで実施している他の事業と施設の紹介もでき、今後の利用につながる。

## ⑥ ベビーマッサージ

目的：0歳児をもつ親が赤ちゃんとのスキンシップを学びながら交流する

日程：6月21日・12月9日

対象：0歳児と保護者

参加人数：23組（親子）

内容：ベビーオイルでのマッサージとスキンシップの方法を学びまた講師のリードでの自己紹介などで知り合うきっかけとなり、母親同士の会話も弾んでいる。

成果：親子のスキンシップと併せ親同士のつながりの一助ともなり、またコーナー主催の事業の紹介などもでき参加につながった。

課題：以前より磯子区地域子育て拠点「いそピヨ」が無料で開催し定着した事もあり、4回開催を予定していたがその内2回は応募がほとんどなく、開催にいたらなかった。この事業が地域に広まったこともあり来年度の開催は断念することとした。

## 5 生涯学習・社会教育の活動、事業、運営の支援

### ① おはなし会スキルアップ講座 パネルシアター講座

目的：おはなし会や読み聞かせの場面の切り替えや子ども達が楽しく参加してくれる工夫として

日程：1月27日～2月10日（全3回）

対象：おはなし会や読み聞かせをしている人

参加者数：23人

成果：出席率が100%。絵を写して色を塗り演じるまでの内容を大変熱心に参加されていた。現場での活動に役立てたいという声が多く聞かれた。

### ② おはなし会スキルアップ講座 手袋人形ミトンのくまさん講座

目的：おはなし会や読み聞かせの場面の切り替えや子ども達が楽しく参加してくれる工夫として

日程：2月24日

対象：おはなし会や読み聞かせをしている人

参加者数：18人

成果：朝から夕方までの一日講座で作成から演じ方までを熱心に行っていた。パネルシアター講座と併せこちらも現場で活かされると好評であった。講師と相談して作りやすくキットを用意した事が良かった。

### ③ 学校図書ボランティア交流会（共催：読書活動推進プロジェクト・後援：磯子図書館）

目的：学校での読み聞かせや図書整備などのボランティアが集まり、手遊びの実習やそれぞれの活動についての情報交換等を行い、今後へ生かしていく。

日程：7月5日（土）10:00～12:30

対象：学校図書ボランティア

参加者数：16人

成果：日頃の活動や課題について参加者どうしが共に考え、解決策やアイデアを持ち帰れる機会となった。

課題：市域の交流会は他では実施していないので今後も続けていきたいが周知方法や曜日設定等検討が必要だ。

#### ④ おはなし会のためのヴォイストレーニング1・2

目的：おはなし会や読み聞かせをしている人を対象に発声・発音の基礎を学ぶ

日程：①6月24日～7月24日 ②11月4日～11月25日（各4回）

参加者：①13人 ②16人

成果：自宅でも継続して練習ができるよう内容を講師が工夫してくれ、参加者からは好評であった。また実際に活動している人に声をかけ、自主事業「おはなし会」への出演につながった。

課題：①②共参加人数が伸び悩んだ。開催時間等要検討。

#### ⑤ 手遊び・わらべうた講座

目的：おはなし会や読み聞かせの際のスキルアップ

日程：6月13日

参加者数：39人

成果：講師の磯子図書館司書との事前打合せが参加者のニーズに合い、併せて本と図書館業務の紹介を行い好評であった。

課題：参加対象者の普段の活動により合った講座内容を検討していく。

#### ⑥ こどもたちの学習支援（共催：学習ルームパレット）

目的：様々な理由（発達障害など）で学校の勉強に遅れがある等の小中学生の学習支援を行う。

日程：毎週木曜日（年33回）

参加者数：327人（延べ人数）

成果：曜日・時間・会場が決まっているので子ども達の出席率も大変良い。課題として担い手不足があり、解決策として年度中に養成講座を開催、課題解決へつなげた。

#### ⑦ 英語でトーク inISOGO（共催：おもいっきり楽しい国際交流会）

目的：様々な国の出身者をゲストに迎え、母国の文化や習慣などを紹介してもらい、理解を深める。

日程：9月27日～11月22日（全3回）

参加者数：34人

成果：今年度は3回目を公開講座（交流会）とした。ゲストも6人参加してくれ、ちょっと雰囲気を楽しみたい人には好評だった。今後英会話を楽しみたい人への拠点づくりへのヒントとなった。

#### ⑧ 木の実工作を楽しもう！クリスマスリース作り（共催：花の土曜会）

目的：子どもたちが緑や自然に親しむ

日程：12月6日

参加者数：6人

課題：同様の内容で磯子区内公共施設でも実施していることもあり、日程の要検討が必要。

### 6 生涯学習・社会教育の担い手のすそ野を広げる

#### ① おはなしの国 おはなし会ボランティア養成講座&公開講座（共催：読書活動推進プロジェクト・後援：磯子図書館）

目的：学校や地域でのおはなし会や読み聞かせの活動をしている人を対象に、基本的な考え方やスキルアップを図ると共に仲間づくりにつなげる。

日程：10月17日～11月14日（金）10：00～12：00（全5回）

対象：読書活動に関わる人

参加人数：養成講座29人、講演会62人

成果：今回も「読書活動推進プロジェクト」が企画・運営を担ってくれ、磯子図書館の後援名義で行ったことで市内公立の小学校へのチラシの配布も可能となった。

公開講座は「朗読の魅力を体感」とし、言葉を伝える大切さなど内容を工夫をしたことがスキルアップにつながり好評であった。

## ② 学習ルームパレットボランティア入門講座（共催：学習ルームパレット）

目的：活動を多くの人に知ってもらい、併せて担い手を増やす

日程：1月27日～2月10日（全3回）

内容：発達障害への理解・子どもとの接し方、交ftg 流会など

参加者数：10人

成果：共催団体のパレットのスタッフが参加しやすい雰囲気を作ってくれ、受講者の出席率も良く、活動への理解が進んだ。同時期にアクションポート横浜が実施している「若者定着支援事業（神奈川県委託事業）」と繋がり市内の大学窓口や学生へも呼び掛けることができた。結果講座終了後複数人がボランティアとして参加している。

## ③ おはなしの国 おはなし会

目的：子ども達が本に触れるきっかけとして、またおはなしの国養成講座修了生や地域で活動している人達の実践の場

日程：4月19日～3月29日（毎月第3土曜日）（全13回）

対象：子どもから大人まで

参加者：255人

内容：絵本の読み聞かせ、素話（ストーリーテリング）、紙芝居、手遊び・歌遊びなど

成果：出演者の新たな開拓と事前に打合せを行い、おはなし会の内容がバラエティになった。また近隣でのイベントなどの日程も考慮し年間スケジュールを組んだことで、参加者数も増えた。

## ④ 家庭教育学級ばんぶきん（一時託児つき）

目的：乳幼児を持つ親たちがつながり、共に子育てや社会的課題などについて学ぶとともに社会参加の一步とする

日程：11月27日～12月11日（全3回）

対象：乳幼児を持つ親とテーマに関心がある人

参加者：56人（延べ人数）

内容：テーマ「わたしにごほう美」～自分みがきでキレイを創る～

プログラムは全3回通しでも1回毎単発でも参加できるよう組み立て、関心がある人の参加を促した。

※一時託児は磯子区子育てサポート隊に依頼。

子どもたちは別室で保育者が遊びながら対応し、親の手元を離れてよく遊んでいた。

成果：テーマにそって自分磨きの時間を企画。毎日の生活にメリハリができるきっかけとなり、好評であった。孤立しがちな子育て世代をこのような活動を通してつながりをつくる仕掛けを互いに学び合いながら創っていった。

課題：現在の運営委員は対象の子育て世代を卒業している。同世代の子どもを持つ親同士が一緒に学び合うため

に新たな運営委員を開拓し、すそ野を広げていく事が必要に思われる。

## 7 学習機会の提供

誰でもが気軽に参加でき、共に育ちあい仲間づくりに繋がることを目的に実施。

### ① 映画音楽を歌おう秋編・冬編・クリスマスソングを歌おう（発表会）

目的：映画音楽を日本語でおもいっきり歌うことで身近に感じ、またリフレッシュにつなげる、

日程： 秋編 7月22日～11月25日（全8回） 17人

参加者数： 冬編 1月27日～ 5月19日（全8回） 16人

クリスマスソングを歌おう 12月9日 39人

成果：秋編と冬編の間の12月にクリスマスソングを歌う（発表会）を実施した事で、夜間帯実施に関わらず参加者の継続と新規加入につながった。

課題：寒い時期は高齢の方の欠席が増え、夜間の事業実施は対象の絞り込みと広報に工夫が必要。要検討

### ② ママフィットネス

目的：子育て中の親が身体を動かすことでリラックスし、リフレッシュすることで親子・夫婦の良い関係を図る

日程：8月8日～3月14日（全8回）

参加者数：74人

成果：乳幼児同伴もOKとし、同室内にスペースを作り対応したことで、参加者は楽しみながら身体を動かしていた。単発参加であったが、実施日に次の予約を受け付ける工夫が継続参加につながった。

回が進むにつれ母親同士が知り合いになるきっかけにもなった。

課題：乳幼児同伴での満足度をあげるには見守る保育スタッフの気配りや声掛けのサポートが肝要だ。

次年度は参加者増を目指して広報等にも工夫が必要だ。

### ③ 横浜めぐり

目的：聞いたことはあるが行ったことが無い名所・名物を改めて知る・みる・味わい、自分達がお勧めの「よこはま」を見つける。

日程：10月17日～12月5日（全3回）

参加者数：14人

成果：ガイドボラによる街歩きとは趣を変えて、開港の地「関内」付近のクイズを取り入れたグループワーク形式にしたことで、参加者同士が一緒に見て回る楽しさを体感していた。第3回目は「私の一押し・横浜の名物」をグループで発表。スムーズにつながった。

課題：目的である体験の部分はスムーズに行えたが、仲間づくりには至らなかった。企画段階で目標としていても、実施回数や次への展開方法など要検討。

### ④ 和布リメイク講座オリジナルバック編・ソーイングバック編

目的：和服のリメイクを行うことで身近なリサイクルやリユースの意識を持ってもらい、仲間づくりにつなげる。

日程：オリジナルバック編 10月21日～11月25日（全4回）

ソーイングバック編 1月13日～2月24日（全4回）

参加者数：オリジナルバック編 26人 ソーイングバック編 11人

成果：材料の帯をリサイクルショップ「WE21 磯子」に依頼し、昨年引き続き活動団体とつながった。

課題：参加者の作成時間がまちまちであるため、全員に合わせたスケジュール管理が難しい。

## ⑤ 大人のフォークソング部

目的：70年代の楽曲をギター演奏と歌の練習を行い、クラブ活動的な雰囲気の中高年のつながりを作る。

日程：11月2日～3月15日（全5回）

参加者数：9人

成果：月1回の活動であったが、全員で4月に行う「おまつりだ〜」への参加を決め、目標に向け自主練習を行うなど主体性と仲間意識が芽生えた。

課題：活動の際、お互いをもっと知り合える工夫があれば自主サークルへつながったかと思う。

## ⑥ エコカフェ ミニかえっこバザール inISOGO

目的：「家庭や地域から地球温暖化対策」をテーマに環境に関する意識を

日程：3月29日

参加者数：42人

成果：不要になったおもちゃのとりかえをメインに子ども工作などを織り込み、クイズはパネルを見て答える等工夫をしたことにより、楽しく温暖化を学べる機会となった。

## 8 他機関・団体等との連携

目的：コーナー事業を館内実施だけにとどまらず、広く各方面と繋がることでコーナーを知ってもらい一緒に事業をすることで、顔の見える関係も構築され業務に活かしていく。

### ① 横浜山手芸術祭

花と器のハーモニーや横浜山手芸術祭の各実行委員会に参加。事業の一端を担った。

### ② 磯子区内子育て支援ネットワーク

地域子育て拠点「いそピヨ」と健康福祉課が中心となり、テーマを基に定期的に話し合いなど行っている。顔の見える関係が進み、連携して各施設や機関のイベント情報誌を発行する試み。

### ③ 磯子NPO連絡会

NPOのメンバーとの付き合いの中でコーナー事業への協力も多々あり、相互に情報交換していく中で理解も深まった。磯子区役所から事業の参画依頼もあり今後も目的に沿った活動を進めていく。

### ④ 磯子図書館

例年さまざまな読書活動推進に絡み、磯子図書館の協力をお願いすることが多い中で今年度も養成講座をはじめ各講座の後援支援を受ける。関連本の貸し出しなどをスムーズに受けられることができ、磯子図書館利用者懇談会にも毎年参加している。

### ⑤ 横浜サンプラザプロジェクト

企業・学生・NPOとの連携を目的に12月のイベントに向け実行委員会に参加した。結果対外的にコーナーの紹介もでき、多くの方とも知り合えた。CSRを実施している企業と市民活動団体の集まりなので実行委員会内での情報共有も盛んに行われ、一部企業とは学校地域コーディネーター事業とも連携している。

### ⑥ 読書活動推進プロジェクト

今年度は養成講座修了生の参加などがあり、メンバーの顔触れも変わってきた。前年同様養成講座の企画運

営を担いまたおはなし会への出演など活動にも広がりが出てきた。講座の企画運営を含め学んだことを地域で活かしてもらいたい。

#### ⑦ 花の土曜会

年間計画に基づき毎月コーナー花壇の整備や草むしり、花苗の植替え等、定例作業とその他必要に応じて月2回程度活動。夏の「おまつりだ!!」では野菜の種苗の販売、12月の「クリスマスリース作り」も実施。地域での緑化の推進や子ども達が自然に触れる機会を作っている。

#### ⑧ 市内・区内の関係機関・団体

定例の磯子区館長連絡会や子育て支援ネットワークに参加、また「いそご区民活動支援センター」とは普段の相談対応とイベントや講師等の情報交換などで密接につながっている。その他団体主催事業などにも出かけた。今後も「つながり」を大切に業務に活かしていきたい。

### 9 社会教育コーナー事業の広報・周知

コーナーの事業を区内はもとより、市内の各種機関や施設に依頼して広く広報を行っている。今年度も事業内容により配布先にメリハリをつけて周知していった。また連絡会など顔を合わせる機会での周知や近隣施設などへは直接出向き配架並びに配布の依頼を丁寧に行った。今後も職員全員が動ける体制で臨みたい。

## (4)平成26年度管理運営業務収支報告書(委託事業を除く)

単位:円

	内 訳	26年度予算(a)	26年度決算(b)	差引 (b)-(a)
項目	指定管理料	10,998,000	10,998,000	0
	利用料金収入	3,000,000	3,836,750	836,750
	事業収入	1,852,500	1,103,314	△ 749,186
	その他収入	300,000	295,531	△ 4,469
収入合計(A)		16,150,500	16,233,595	83,095
項目	人件費	10,650,000	11,068,975	418,975
	管理費	2,200,000	2,300,914	100,914
	事業費	1,385,500	832,802	△ 552,698
	事務費	715,000	935,788	220,788
	利用料金減免費		7,000	7,000
	指定額(小破修繕)	300,000	300,440	440
	公租公課	900,000	598,800	△ 301,200
支出合計(B)		16,150,500	16,044,719	△ 105,781
収支差額(A)-(B)		0	188,876	188,876

平成26年度管理運営業務収支内訳書

単位:円

項目		25年度 コーナ―管理運 営業務収支	26年度 コーナ―管理運営業務収支		備考
		決算	決算	内訳	
収入 (A)	指定管理料	10,595,000	10,998,000		減免補填分含む
	利用料金収入	3,525,350	3,836,750		
	自主事業収入	1,202,350	1,103,314		
	その他収入	295,952	295,531		コピー・印刷代・自販機収入等
	小計	15,618,652	16,233,595		
支出 (B)	人件費	10,556,857	11,068,975		給与全般・交通費
	管理費	2,234,900	2,300,914		光熱水費・定期清掃・設備点検等
	自主事業費	944,350	832,802		
	事務費	1,157,078	935,788		
	旅費			0	
	消耗品			249,055	
	会議費(食糧費)			0	
	印刷製本			79,111	
	通信費			123,541	
	備品購入			484,081	
	その他事務				
	利用料金減免歳入費		7,000		26年度減免利用分:55,000円 7,000円戻入
	指定額(小破修繕)	290,955	300,440		
	税金	432,550	598,800		
小計	15,616,690	16,044,719			
差引収支(A)-(B)		1,962	188,876		

平成26年度利用料金収入

単位:円

月	研修室A/B	研修室C	アートルーム	トレーニングルーム	スポーツ広場	付帯設備	返金	計	累計
4月	57,600	46,000	62,400	96,000	41,000	24,200	0	327,200	327,200
5月	53,600	38,000	72,000	80,000	60,000	10,600	0	314,200	641,400
6月	58,200	38,000	65,600	69,600	33,000	9,000	550	272,850	914,250
7月	55,800	46,000	76,800	95,200	33,700	9,900	1750	315,650	1,229,900
8月	60,000	35,000	67,200	98,400	39,700	10,800	2800	308,300	1,538,200
9月	53,400	44,000	70,400	96,800	47,200	10,800	0	322,600	1,860,800
10月	60,600	50,000	68,800	90,400	50,200	9,300	600	328,700	2,189,500
11月	57,600	40,000	72,000	84,800	48,900	11,100	800	313,600	2,503,100
12月	72,600	42,000	80,000	101,600	28,000	11,000	1650	333,550	2,836,650
1月	60,600	44,000	51,200	83,200	40,550	8,000	0	287,550	3,124,200
2月	57,600	41,000	68,800	84,800	58,100	9,100	2750	316,650	3,440,850
3月	81,000	51,000	72,000	92,800	49,000	52,800	2700	395,900	3,836,750
計	728,600	515,000	827,200	1,073,600	529,350	176,600	13,600	3,836,750	

一般利用

## 平成26年度利用料金収入

単位:円

	コピー代	自販機売上	シャワー	計
4月	13,871	0	0	13,871
5月	18,519	8,778	200	27,497
6月	39,267	4,948	200	44,415
7月	16,447	8,580	400	25,427
8月	7,783	6,649	700	15,132
9月	12,001	6,747	0	18,748
10月	15,300	10,930	0	26,230
11月	14,169	10,077	0	24,246
12月	11,479	7,171	0	18,650
1月	14,132	6,833	0	20,965
2月	6,803	6,106	0	12,909
3月	40,241	6,900	300	47,441
計	210,012	83,719	1,800	295,531

## (5) 平成26年度横浜市社会教育コーナー利用状況年間報告書

### 部屋別

		研修室 A	研修室 B	研修室 C	アート ルーム	トレー ニング ルーム	交流ス ペース	スポー ツ広場	小計	午前	午後	夜間	合計
利用人数 (単位:人)		7,499	6,122	5,136	10,066	12,984	4,143	2,956	48,906	23,087	19,217	6,602	48,906
	前年	7,296	5,973	5,380	8,800	10,967	1,972	2,393	42,781	20,793	15,864	6,124	42,781
利用コマ数		427	411	555	533	1,338	477	569	4,310	1,941	1,734	635	4,310
	前年	447	399	529	523	1,192	383	536	4,009	1,829	1,649	531	4,009
総コマ数(26年度)		975	975	975	975	1,950	975	1,295	8,120	3,070	3,055	1,995	8,120
利用率		43.8%	42.2%	56.9%	54.7%	68.6%	48.9%	43.9%	53.1%	63.2%	56.8%	31.8%	53.1%
	前年	46.1%	41.1%	54.5%	53.9%	61.4%	39.5%	41.0%	47.2%	59.6%	53.7%	271.0%	49.5%
利用率前年対比		95.5%	103.0%	104.9%	101.9%	112.3%	124.5%	106.2%	107.5%	106.1%	105.2%	119.6%	107.5%

### 月別合計数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数 (単位:人)		5,433	3,768	5,769	3,275	3,155	3,536	4,453	4,304	4,329	3,329	3,604	3,951	48,906
	前年	2,918	3,223	3,709	4,967	2,684	3,460	3,540	4,057	3,519	3,728	3,487	3,489	42,781
利用コマ数 (※1)		349 (265)	354 (262)	353 (288)	340 (265)	294 (208)	376 (285)	377 (293)	379 (294)	367 (276)	345 (257)	367 (279)	409 (292)	4,310 (3,264)
	前年	288 (229)	302 (250)	332 (264)	347 (280)	298 (215)	333 (255)	347 (269)	380 (279)	323 (242)	328 (250)	371 (293)	360 (264)	4,009 (3,090)
総コマ数(26年度)		671 (492)	704 (504)	649 (492)	704 (510)	705 (510)	683 (486)	715 (510)	683 (486)	622 (444)	629 (450)	640 (456)	715 (510)	8,120 (5,850)

※1:( )内数字は研修室A~C・アートルーム・トレーニングルーム5部屋分のコマ数

利用率 (※2)		53.9%	52.0%	58.5%	52.0%	40.8%	58.6%	57.5%	60.5%	62.2%	57.1%	61.2%	57.3%	55.8%
	前年	46.5%	49.6%	53.7%	54.9%	41.7%	53.1%	52.7%	56.7%	55.3%	57.1%	66.0%	52.4%	53.1%
利用率前年対比		115.7%	104.8%	109.1%	94.6%	96.7%	111.8%	108.9%	105.4%	114.0%	102.8%	95.2%	110.6%	105.6%

※2:利用率は研修室A~C・アートルーム・トレーニングルーム5部屋分となります。 上記「月別合計数」表内の( )内数字で計算

#### ・利用率向上への取組

- ①昨年度に引き続き、全ての部屋(スポーツ広場を含め)の利用コマ数を「3コマ」から「5コマ」に増やした。
- ②手持ちのコマ数に関係なく1週間前利用のルールが定着し、活用する団体が増えてきた。
- ③交流コーナーの机や椅子の配置を変更した結果、活動時間前後に座って打合せをするなどの利用が増え、ゆったりと交流コーナーを利用している。